

■抗ポリユビキチンモノクローナル抗体 (FK1) ■

● 原料を腹水から無血清培養上清へ

抗体の作製はマウス腹水を原料とした作製方法が主流ですが、ホスト由来のタンパク質が混入し、抗体産生量の少ないクローンでは純度が高くありませんでした。また、マウスを使用するため動物愛護の問題もあります。

無血清培養上清はマウスを使わず、ホスト由来のタンパクが入らないため、純度が高い抗体が得られます。永らくご使用いただいております**抗ポリユビキチンモノクローナル抗体 FK1** は、原料を腹水から培養上清に変えて **2021年7月から**新たに販売を開始します。

● 仕様

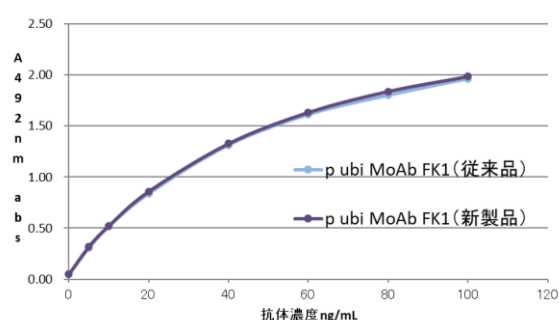
品番	製品名	サブクラス	溶媒	包装
0924	抗ポリユビキチンモノクローナル抗体 FK1	IgM	トリスバッファー	1mg
		適用 ELISA、WB		

参考文献

- 1) M.Fujimuro, H.Sawada, H.Yokosawa ; FEBS Lett.349,173-180(1994)
- 2) K.takada, H.Nasu, N.Hibi, Y.Tsukada, K.Ohkawa, M.Fujimuro, H.Sawada, and H.Yokosawa ; Eur.J.Biochem. 233, 42-47(1995)

● データ

Fig.1. ELISA 活性は従来品と差がありません



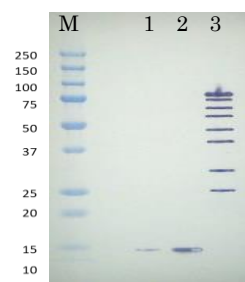
固相:Deca-ubiquitin(linear)

1次抗体:各 FK1 抗体

2次抗体:Anti Mouse IgM HRP

Fig.2 Western Blotting ポリユビキチン鎖と反応します

A. ユビキチンとの反応



M:マーカ

1:Di-ubiquitin(Ub2)(K48-linked)

2:Di-ubiquitin(Ub2)(K63-linked)

3:Deca-ubiquitin(linear)

1次抗体:FK1

2次抗体:Anti Mouse IgM HRP

B.Deca-ubiquitin(linear)の濃度による反応



M:マーカ

1~8: Deca-ubiquitin(linear)濃度

0.005,0.01,0.02,0.03,0.04,0.05,0.1,0.2μg

1次抗体:FK1

2次抗体:Anti Mouse IgM HRP



日本光電グループ

株式会社日本バイオテスト研究所

埼玉県朝霞市泉水 1-8-11 〒351-0024

Tel: 050-3816-7056 (代表) Fax: 050-3816-7863

E-mail jutaku@nbiotest.co.jp http://www.nbiotest.co.jp/